

# 渡良瀬川だより

No. 100

平成23年5月10日

国土交通省

渡良瀬川河川事務所

地域広報官

## 事務所長の異動に伴う御挨拶



日頃より、渡良瀬川河川事務所の河川並びに砂防事業の整備や管理等につきまして、ご理解ご協力を頂き心から厚く御礼申し上げます。4月1日から事務所長となりました<sup>やつき ひろと</sup>八木裕人です。

3月11日の東日本大震災以降、日本を取り巻く社会情勢はあらゆる面で厳しい状況になっており、国の機関や自治体などは、今まで以上に国のため、国民のために役立つことが期待されています。

渡良瀬川河川事務所管内の河川管理施設や砂防施設は、幸いにも地震による大きな被災は受けていませんが、国土交通省及び関東地方整備局の一員として、当事務所職員による東北地方整備局や利根川下流河川事務所を始めとした下流域の河川事務所、及び茨城県への支援を行っています。

また、当事務所管内においても余震が頻繁に起こっており、間もなく出水期にも入ることから、各関係機関と更なる連携を図り、水防体制の強化に努めて参ります。

水防関係者や流域の皆様におかれましても、災害への備えを常日頃より心掛けていただきたくお願いします。

今後とも、地域の安全・安心を確保するため、河川並びに砂防事業を推進して参りますので、引き続き皆様のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

### TEC-FORCE (テック・フォース) 派遣状況

現在、渡良瀬川河川事務所ではTEC-FORCE隊員3名を茨城県の土木事務所等に派遣し、被災した公共施設の災害復旧関連の申請書等の作成を行っています。

[派遣先]

- ・茨城県水戸土木事務所
- ・茨城県常陸大宮土木事務所
- ・茨城県高萩工事事務所

[派遣期間]

平成23年4月18日から6月中旬

### ※TEC-FORCE (テック・フォース) とは・・・?

従来その都度決定していた緊急支援や人員、資機材の派遣体制を予め定め、整え、迅速に被災地に出動し、自治体等が行う被災状況の把握、被害の発生、拡大の防止、その他応急対策に関わる技術支援を行い、被災地の早期復旧に繋がる支援活動を行う職員の部隊である。

# 「みんなで足尾の山を緑に！」 ～春の植樹デーが開催されました～



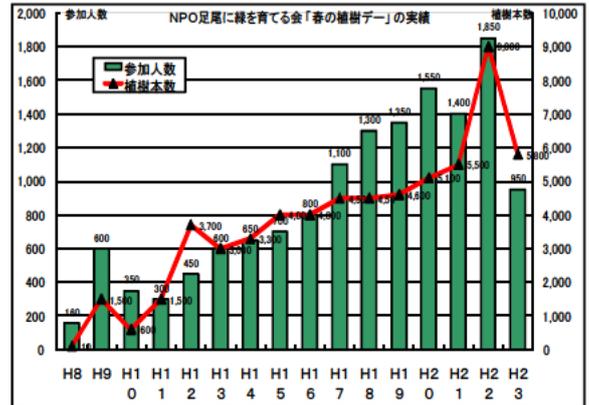
当日の作業風景

平成23年4月23日（土）と24日（日）の2日間にわたり、春の植樹デーが日光市足尾町の足尾砂防堰堤付近の山腹斜面において、開催されました。

この行事は、NPO法人「足尾に緑を育てる会」が「足尾の山に100万本の木を植えよう！」を合い言葉に毎年主催している植樹活動で、今年で16年目となり、平成8年の「第1回春の植樹デー」からの累計では、参加者14,000人、植樹本数は60,000本を超えました。

## 平成23年度 実施結果

実施日	参加者数	植樹本数
4月24日（土）	400人	2,300本
25日（日）	550人	3,500本
2日間合計	950人	5,800本



当日は一人数本の苗木を持ちながら、植樹会場に向かって急傾斜の階段を一步一步のぼっていき、思い思いの場所に穴を掘り苗木を植えていました。

苗木を植える参加者は、真剣であるとともに楽しそうで、それぞれが足尾の山に緑が戻ることを願いながら植樹したことと思います。

今年は初日がいにくの雨だったにも拘わらず、2日間で計950の方が参加され、約5,800本の苗木が植えられました。このようなみなさんの協力により、足尾の山は少しずつではありますが着実に緑が回復しております。しかしすべてが再生するには長い年月と、より多くの方々の協力が必要です。

来年も植樹デーが開催されると思いますので、今回参加されなかった方も是非参加して、快いよい汗を流してみませんか。

春の植樹デーのほかにも、小中高学校の環境学習・修学旅行等の団体による体験植樹が秋まで行えますので、是非お申し込み下さい。

### 【申込先】

渡良瀬川河川事務所 足尾砂防出張所 (TEL : 0288-93-2151)

NPO法人足尾に緑を育てる会 (TEL : 0288-93-2180)

(担当 砂防調査課)

# 平成23年度 渡良瀬川水利使用調整連絡協議会（定例会議）と 渡良瀬川利水者懇談会（定例会）を同時開催しました



4月20日（水）に、渡良瀬川河川事務所で平成23年度渡良瀬川水利使用調整連絡協議会（定例会議）と渡良瀬川利水者懇談会（定例会）を同時開催しました。

この会議は例年4月に開催しており、利水者（各水道、土地改良区等）、各県行政（群馬県・栃木県の河川及び農業関係担当部所）、ダム管理者（国土交通省利根川ダム統合管理事務所、独立法人水資源機構草木ダム管理所）、河川管理者（国土交通省渡良瀬川河川事務所）が渇水時の連絡体制を確認し、草木ダムの貯留量の状況や今後の見通し、今後の流況や取水の見込みなどの情報交換しています。

この会議では、

- ・現在の草木ダムはほぼ満杯で運用されている
- ・今後の雨の降り方や利根川本川の流況によっては、草木ダムからの放流が必要となる
- ・渇水の傾向が見られた場合には早めに臨時会議を開催し、協力して取水量調整等を行う

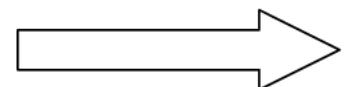
ことなどを確認しました。

水は、流域住民の大切な共有資源です。

今後も利水者、各県、ダム管理者、河川管理者は日頃から協力し、渇水時に流域住民の皆様への影響が極力少なくなるよう、協力して対応していきます。

渡良瀬川流域のみなさんには、水の大切さを再認識していただき、日頃から水を大切に使うよう、お願いします。

6ページには毎月、草木ダム貯水量グラフを掲載していますので、是非ご覧下さい。



（担当 管理課）

## 渡良瀬川の安全利用点検を実施しました

近年、河川利用者の河川環境への関心が高まっていることや、河川利用者の増加、利用形態の多様化が進んでいます。一方、河川利用者には河川空間には危険性が内在するという特性を認識していただくとともに、自らの責任において安全確保を心がけていただきながらも、可能な限り安心して河川に接していただけるような川作りを目指し、河川内の施設等の安全利用点検を実施しているものです。

この点検は、平成14年度より毎年ゴールデンウィーク前、及び夏休み前の時期に全国的に実施しており、渡良瀬川河川事務所では4月13日から21日にかけて、直轄区間総延長70.4kmの渡良瀬川や支川の堤防、護岸（自然河岸含む）及び親水施設、さらに砂防設備の点検を実施し、立入防止柵や注意看板等が必要と思われる88箇所について、応急対策を実施しました。



河川には流れが急な箇所や自然の崖や深みが多く存在すること、また、急な大雨により川の状況が一変することなどからも、今回の対策箇所以外についても安全に十分注意して利用していただきますようお願いします。

(担当 管理課)

## 5月は「水防月間」です！

我が国は、自然的・社会的環境から洪水等における災害を受けやすく、毎年のように豪雨や台風による災害が全国各地で発生しています。

6月からの出水期を迎える当事務所における取り組みとして、5月の水防月間には、洪水対応演習の実施や、当事務所管内の沿川市町や水防関係機関等との連絡調整会議や重要水防箇所の巡視、さらには樋管等の許可工作物の履行検査、職員による堤防点検、請負業者による排水機場や水門の点検等を実施しています。

これから台風シーズンによる大雨が予想される時期を迎えます。大雨の際には気象情報や河川情報等に注意するとともに、土砂災害や洪水災害に備え、事前に自宅周辺の危険箇所や避難経路を確認するなど、十分に注意して下さい。

### 【河川情報の確認先について】

パソコンからは・・・川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>

携帯電話からは・・・川の防災情報（携帯版）<http://i.river.go.jp>

一般電話からは・・・渡良瀬川河川事務所 水位情報 0284-73-6217

(担当 調査課)



# インフォメーション

渡良瀬川と人のコミュニティスペース「せせら」は、渡良瀬川の河川・砂防に関する災害の歴史や川にまつわる歴史、自然環境の豊かな生態系などについて広く理解していただくことを目的に開設しています。

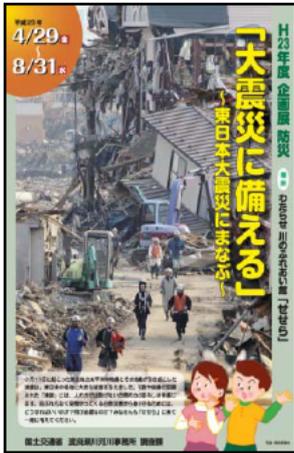
平成23年度に「せせら」で行われる企画展の年間予定について、ご紹介します。

## 1. テーマ1「防災」 平成23年4月29日（金）～平成23年8月31日（水）

### 『大地震に備える』～東日本大震災にまなぶ～

平成23年3月11日の東日本大震災とその地震が引き起こした津波は、東日本各地に大きな被害を与えました。写真や映像に記録された「津波」には人の力では防げない自然の力の恐ろしさを感じます。

突然やってくる自然災害から身を守るためには、どうすればいいのか？何が 필요한のか？みなさんも「せせら」に来て一緒に考えてください。



### ◇主な展示内容

- 東日本大震災写真展  
東北地方を襲った津波の報道写真を中心に自然災害の恐ろしさを知り、改めて、災害に備える大切さを学べます。
- 地震がおよぼす川への影響  
地震によって、関東地方でも河川堤防に大きな被害を受けました。国土交通省の対応と土砂崩れが引き起こす災害を防ぐ「砂防堰堤」について紹介します。
- 地震の仕組みを知ろう  
なぜ地震が起きるのか？なぜ日本に地震が多いのか？津波とは何なのか？みんなの疑問に答えるパネル展示。
- クイズラリー・ワークシート  
展示を見ながらクイズラリーやワークシートに挑戦しよう！

## 2. テーマ2「歴史」平成23年9月2日（金）～11月30日（水）まで

## テーマ3「環境」平成23年12月2日（金）～平成24年3月下旬まで

内容につきましては、追って渡良瀬川河川事務所ホームページにてお知らせします。

【URL】<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

### 流域防災情報等発信施設「せせら」のご利用案内

所在地：栃木県足利市岩井町465-1 渡良瀬グリーンプラザ3階

開館時間：10:30～16:00（7、8月は9:30～17:00）

休館日：木曜日（祝日の場合は翌日）

年未年始（12月29日～1月3日）

入館料：無料

TEL&FAX：0284-44-3001

電車で来館する場合

JR両毛線 足利駅より徒歩20分

東武伊勢崎線 足利市駅より徒歩25分

車で来館する場合

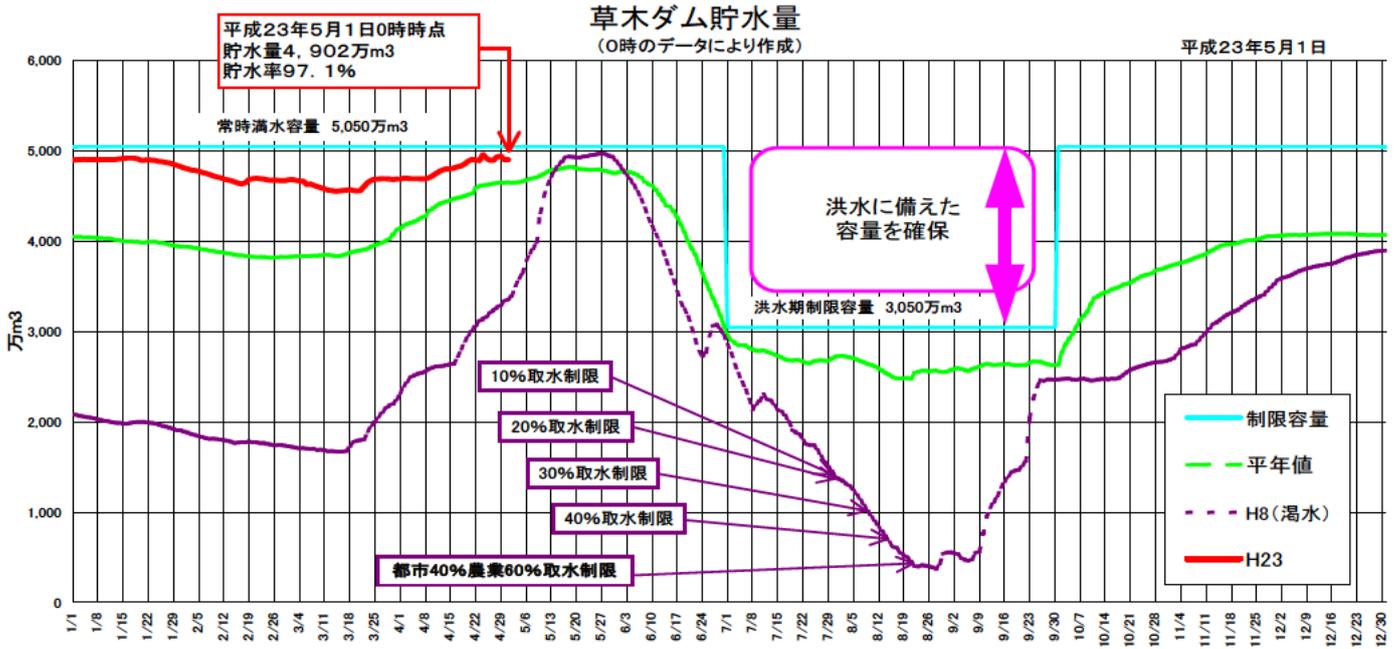
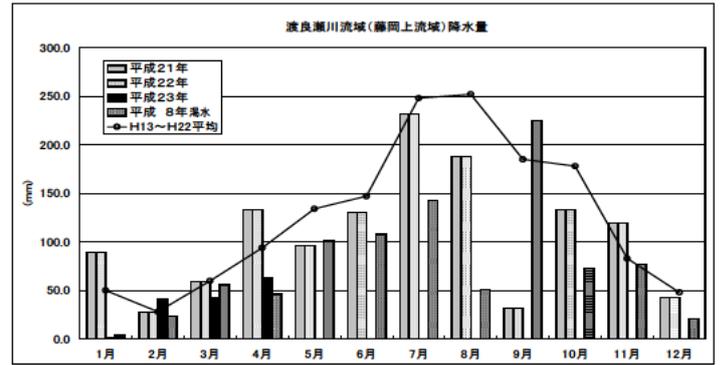
東北自動車道 佐野藤岡ICより約35分

北関東自動車道 太田桐生ICより約30分



4月の渡良瀬川流域（藤岡上流域）の降水量は62.4mmで、平均降水量と比べ、66%となっており、ほぼ平常並みとなっています。

また、5月1日現在の草木ダムの貯水容量は常時満水量に対して、97.1%とほぼ満水で平均値を上回っています。



### 流域防災情報等発信施設「せせら」からのご案内

「大地震に備える」の企画展を実施中です。ぜひご来館下さい！（8月31日まで実施します）

所在地：栃木県足利市岩井町465-1  
渡良瀬グリーンプラザ3階  
開館時間：10:30~16:00  
（7、8月は9:30~17:00）  
休館日：木曜日（祝日の場合は翌日）  
年末年始（12月29日~1月3日）  
入館料：無料  
TEL&FAX：0284-44-3001

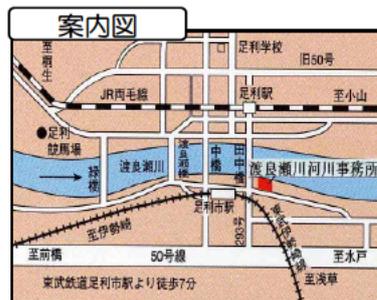


国土交通省関東地方整備局  
渡良瀬川河川事務所

〒326-0822  
栃木県足利市田中町661-3  
<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>  
TEL 0284(73)5551  
FAX 0284(73)5582

佐野河川(出) 0283(21)6810  
桐生(出) 0277(44)3724  
足尾(出) 0284(71)2202  
大間々砂防(出) 0277(72)1664  
足尾砂防(出) 0288(93)2151

誌面についての御意見や御感想をお待ちしています。パソコンからは渡良瀬川河川事務所ホームページの「お問い合わせ」からご投稿いただけます。



電話・FAXは左記番号へ、郵便の場合は左記住所「渡良瀬川河川事務所地域広報官」あてをお願いします。

川の防災情報  
リアルタイムの雨量と水位を知りたい時は  
<http://i.river.go.jp>

